

体操専門部・熱中症対策ガイドライン

危機管理委員名 前田光弘

(所属校名) 作新学院高等学校

熱中症対策

事前の対策

- ①WBGT計を備える。
- ②WBGT = 25℃以上となる場合は必ずクーラーを使用する。
- ③審判員や運営スタッフ用に氷・スポーツドリンク・経口補水液を準備する。
- ④熱中症対応可能な救急病院を確認しておく。
- ⑤会場内にクーラーがある医務室または救護室を備えておく。
- ⑥会場内に医師、看護師のいずれかを常駐させる。
- ⑦担架及び車椅子等の傷病者を搬送できる器具の設置場所の確認をしておく。

大会／試合時の対策（当日の対応）

- ①WBGT計を備える。
- ②WBGT = 25℃以上となったら必ずクーラーを使用する。
- ③審判員や運営スタッフ用に氷・スポーツドリンク・経口補水液を渡す。
- ④熱中症対応可能な救急病院を確認しておく。
- ⑤会場内にクーラーがある医務室または救護室を稼働しておく。
- ⑥会場内に医師、看護師のいずれかを常駐させる。
- ⑦担架及び車椅子等の傷病者を搬送できる器具の準備をしておく。

参考文献

公益財団法人 日本サッカー協会熱中症対策ガイドライン